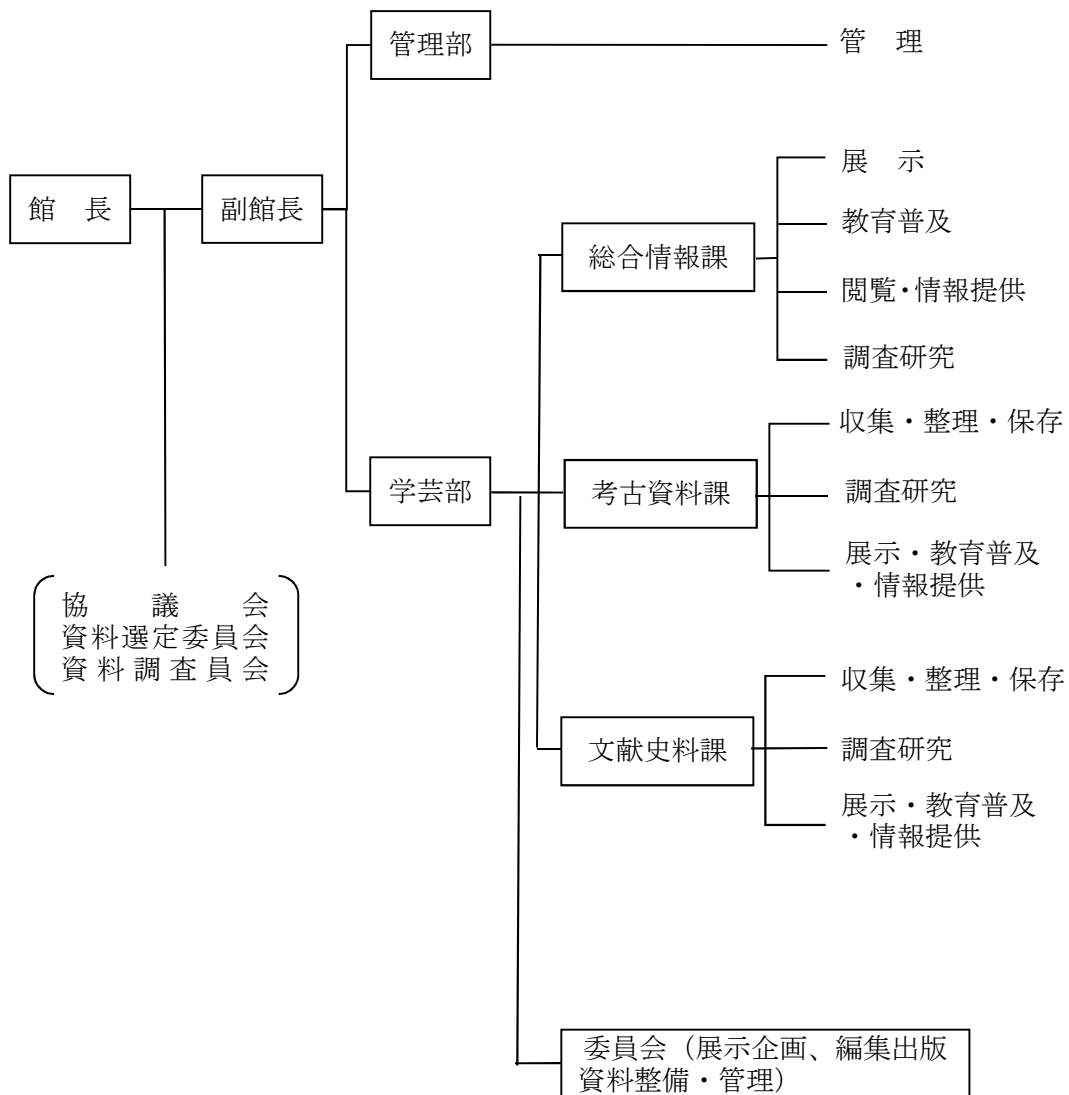


5 県立歴史館

(1) 歴史館の概要

県立歴史館は、歴史博物館的機能をもつ総合情報部門、発掘調査により出土した遺物や、記録・写真・図面などを収集整理・調査研究・保管し、閲覧に供する考古資料部門、公文書・古文書などの歴史資料を収集整理・調査研究・保管し、閲覧に供する文献史料部門の三つの機能を合わせ持った複合施設である。

(2) 組織と機能



職員配置：館長 1、副館長 1、管理部 3、学芸部 17(学芸部長 1、総合情報課 9、考古資料課 4、文献史料課 3)、行託 5、非常勤 5

(3) 県立歴史館協議会

委員の構成

(平成31年3月31日現在)

| 氏名 | 現職 |
|--------|---------------|
| 大西 沙希子 | (公財)八十二文化財団職員 |
| 久留島 浩 | 国立歴史民俗博物館長 |
| 小林 正春 | 長野県考古学会長 |
| 小松 芳郎 | 信濃史学会長 |
| 中澤 英治 | 千曲市森將軍塚古墳館長 |
| 中條 智子 | (一社)長野県連合婦人会長 |
| 中村 孝子 | 更級小学校教諭 |
| 山崎 まゆみ | 公募 |
| 若林 由美子 | 千曲市教育長職務代理者 |

(任期 平成31年2月7日から令和3年2月6日まで)

(4) 常設展 ※小テーマ替えは随時行っている。

- ア 原始 最古の狩人 ほか
- イ 古代・中世 信濃から都へ ほか
- ウ 近世 一揆と世直し ほか
- エ 近現代 世界につながる蚕糸業 ほか

(5) 企画展等

- ア 長野県埋蔵文化財センター巡回展「長野県の遺跡発掘2018」
 - 県立歴史館：3月17日(土)～6月3日(日) 8,458人
 - 南信会場：7月13日(土)～8月2日(木) 492人
 - 中信会場：8月11日(土)～9月17日(月) 1,406人
 - 東信会場：9月29日(土)～11月25日(日) 1,455人

- イ 夏季企画展：6月16日(土)～7月29日(日)

「君は河童を見たか！」

講演会：6月16日(土)「妖物の誕生」

講師：関西学院大学 文学部 教授 西山 克 氏

- ウ 秋季企画展：9月15日(土)～11月25日(日)

「最古の信州ブランド黒曜石」

講演会：9月22日(土)「黒曜石が語る列島の細石器文化」

講師：浅間縄文ミュージアム館長 堤 隆 氏

エ 冬季展：12月15日(土)～2月17日(日)

「自然を見つめた田淵行男」

トークセッション：1月19日(土)「田淵行男と人づくり-安曇野の環境保全-」

場 所：安曇野市穂高交流学习センター「みらい」

対談者：帝京科学大学専任講師 江田慧子氏、飯田高校 校長 卷山圭一氏

安曇野市教育委員会 文化課長 那須野雅好氏、

長野県立歴史館館長 笹本 正治、同館学芸員 林 誠

(6) 講座

ア 県立歴史館の信州学講座

① 館内

| | |
|-----------|------------------------|
| 5月26日(土) | 「歴史館から信州を考える」 |
| 6月9日(土) | 「古墳時代研究からわかる科野の成立」 |
| 6月23日(土) | 「室町時代諏訪信仰を広げたのは誰だ」 |
| 7月7日(土) | 「拾ヶ堰-近世安曇平における用水路の到達点」 |
| 12月1日(土) | 「信州の風景とイギリス風景画」 |
| 12月22日(土) | 「近世後期の武士家臣団-松代藩を例として-」 |
| 1月12日(土) | 「縄文時代の食料事情」 |
| 2月9日(土) | 「雪国の暮らし」 |
| 3月9日(土) | 『旧石器時代の信州』 |

② 信州学出前講座

| | |
|-----------|---|
| 8月25日(土) | 「古墳時代後期のシナノの国」 上田市立信濃国分寺資料館 |
| 11月24日(土) | 「描かれた日本アルプス-江戸から明治へ-」 「シナノの古墳文化と上伊那」 箕輪町地域交流センター |
| 2月23日(土) | 「諏訪信仰と室町幕府」 諏訪市博物館 |
| 3月2日(土) | 「河童が登場するまで-人と水の関係史-」 「日本人の心に生きる河童」 松本市博物館 |
| 3月10日(土) | 「田中芳男-博物館の父は飯田から羽ばたいた-」 飯田市美術博物館 |

イ 考古学講座『文化の画期について』

5月12日(土)・6月2日(土)・6月30日(土)・7月21日(土)

合計参加者 438人

ウ 古文書講座(通年予約制)

初級A：年間5回（6月10日、7月8日、8月5日、9月16日、10月7日）

初級B：年間5回（6月14日、7月19日、9月20日、10月18日、11月15日）

中級A：年間5回（6月9日、7月7日、8月4日、9月15日、10月6日）

中級B：年間5回（6月14日、7月19日、9月20日、10月18日、11月15日）

上級：年間5回（5月26日、6月30日、7月28日、9月29日、10月13日）

ティーンズ：年間4回（8月7日、8月8日、8月9日、8月10日）

(7) お出かけ歴史館

社会見学等で訪れる機会がない中南信地域の子どもたちに、歴史の魅力を伝える出前講座
実施学校数7校 17学級、公民館2館、実施人数415人

(8) 講習会(関係者)

「考古資料保存処理講習会」11月30日(金)

「文献史料保存活用講習会」6月21日(木)、10月24日(水)、1月29日(火)

2月27・28日(水・木)

(9) イベント

「歴史館でこどもの日」、「歴史館で夏休み」の開催

ア 歴史館でこどもの日 5月5日(土) 参加者515人

イ 歴史館で夏休み 7月28日(土) 参加者277人

ウ 森将軍塚まつり 11月3日(土) 参加者786人

エ 子育て家庭優待日(いい育児の日)11月17日(土) 参加者41人

オ 黒曜石で星降る森のリースを作ろう 11月24日(土) 参加者23人

(10) 他機関等との連携事業

ア 「歴史館パートナーの日」の実施

協賛企業(パートナー)との連携による特別企画

(ア)10月28日(日) 「県立歴史館・KOAの日」バックヤード探検 参加者数20人

(イ)12月15日(土) 「県立歴史館・長野都市ガスの日」バックヤード探検ほか
参加者41人

イ 信濃毎日新聞コラム「しなの歴史再見」の執筆

執筆数46回

ウ 「過去の災害に学ぶページ」の開設(平成30年2月)

県建設部砂防課と連携し、歴史館所蔵の「長野県明治初期の村絵図」を活用した土砂災害を避けるための情報を掲載

(11) 利用者数の推移

| 区分 年度 | 常設 展示室 | 企画 展示室 | 講演 講座等 | 閲覧室 | 合計 | 対前年度 割合 | 対7年度 割合 |
|----------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|------------|------------|
| 6年度 | 50,375 | 34,685 | 1,033 | 6,797 | 92,890 | 11月3日開館 | |
| 7年度 | 99,478 | 23,470 | 3,086 | 11,887 | 137,921 | — | — |
| 8年度 | 74,438 | 21,029 | 2,299 | 10,466 | 108,232 | 78.5 | 同左 |
| 9年度 | 59,968 | 15,585 | 3,133 | 8,067 | 86,753 | 80.2 | 62.9 |
| 10年度 | 53,651 | 32,586 | 3,608 | 8,362 | 98,207 | 113.2 | 71.2 |
| 11年度 | 53,814 | 30,392 | 3,617 | 8,461 | 96,284 | 98.0 | 69.8 |
| 12年度 | 47,604 | 25,781 | 3,540 | 9,355 | 86,280 | 89.6 | 62.6 |
| 13年度 | 46,303 | 34,352 | 4,346 | 7,573 | 92,574 | 107.3 | 67.1 |
| 14年度 | 45,106 | 33,887 | 6,384 | 7,566 | 92,943 | 100.4 | 67.4 |
| 15年度 | 43,813 | 33,400 | 12,952 | 7,070 | 97,235 | 104.6 | 70.5 |
| 16年度 | 43,889 | 32,797 | 12,429 | 6,287 | 95,402 | 98.1 | 69.2 |
| 17年度 | 44,855 | 33,585 | 12,263 | 8,232 | 98,935 | 103.7 | 71.7 |
| 18年度 | 46,362 | 37,866 | 14,360 | 13,642 | 112,230 | 113.4 | 81.4 |
| 19年度 | 46,874 | 42,691 | 15,217 | 12,454 | 117,236 | 104.5 | 85.0 |
| 20年度 | 41,790 | 32,316 | 13,089 | 10,815 | 98,010 | 83.6 | 71.1 |
| 21年度 | 41,089 | 32,507 | 14,774 | 10,002 | 98,372 | 100.3 | 71.3 |
| 22年度 | 40,839 | 29,969 | 12,175 | 9,916 | 92,899 | 94.4 | 67.4 |
| 23年度 | 43,383 | 33,676 | 11,057 | 6,118 | 94,234 | 101.4 | 68.3 |
| 24年度 | 42,154 | 37,674 | 11,953 | 7,201 | 98,982 | 105.0 | 71.8 |
| 25年度 | 39,323 | 32,603 | 13,091 | 7,205 | 92,222 | 93.2 | 66.9 |
| 26年度 | 39,897 | 34,614 | 21,004 | 7,855 | 103,370 | 113.8 | 74.9 |
| 27年度 | 41,609 | 31,886 | 24,536 | 6,963 | 104,994 | 101.6 | 76.1 |
| 28年度 | 44,673 | 32,199 | 31,424 | 4,094 | 112,390 | 107.0 | 81.5 |
| 29年度 | 40,765 | 25,780 | 32,263 | 4,244 | 103,052 | 91.7 | 74.7 |
| 30年度 | 40,002 | 26,848 | 30,743 | 3,731 | 101,324 | 98.3 | 73.5 |
| 合計 | 1,212,054 | 782,178 | 314,376 | 204,363 | 2,512,971 | — | — |

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

(12) 資料の収集・整理・保存

ア 展示資料

「山ノ内町立北小学校資料」「足踏みミシン」など7点の寄贈があったほか、「田中平八資料雛道具」1件を修復した。

イ 考古資料

収蔵庫内の資料の点検、修理が必要な遺物の整理を行うとともに、長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物、写真、調査資料等の整理を実施した。

また、木器や金属器など館蔵脆弱資料のうち、劣化状況が深刻な資料について、保存処理を継続して実施（完了：木器 392 点、金属器 2 点）したほか、歴史館の設備を用いて、当県の歴史研究のために必要とされる科学分析を実施（219 点）した。

ウ 文献史料

(ア) 古文書

「小笠原家文書」「武田家朱印状」など 11 件を購入したほか、「安曇郡堀之内村柏原家文書」「埴科郡森村近藤家文書」など 7 件の寄贈があった。

(イ) 行政文書

不用決定された本庁及び現地機関の文書 587 件について、歴史的価値を有する文書として収集した。